

個人質問(2月26日) 田口一登議員

**弥富相
生山線**

**道路に頼らない通過車両対策を提案
「鋭意検討する」(名古屋市)**



田口一登議員は、相生山の道路(弥富相生山線)の「廃止」について質問しました。

市長が道路廃止を表明して2か月

河村市長が廃止表明をしてから2か月。田口議員は廃止に向けたとりくみ状況をたどしました。緑政土木局長は「関係局が多岐にわたるので、課題抽出から早急に着手し、その対応方法について鋭意検討する」という答弁です。

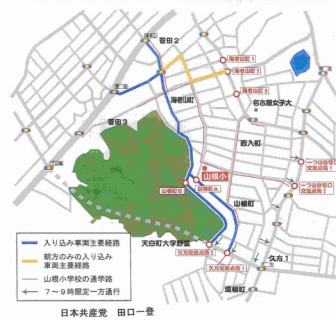
現地調査して対策を提案

課題の一つが、近隣住宅地への通過車両の入り込み対策です。「車の入り込みで困っているから」というのが、道路建設を望んでいる住民の一番の理由です。名古屋市は何度も通過車両の調査を実施しており、田口議員は、住民の協力を得て、交通調査を実施した結果(山根小学校周辺の通過交通量調査)をパネルで示し、入り込み対策の試案を提案しました。河村市長も入り込み対策を提案しています。

地元の意見をききながら検討していく

市緑政土木局長は、「市長の案や田口市議の試案も含め、どのような対策が有効か、地元の方々の意見を伺い、警察とも相談しながら、鋭意検討していく」と答弁。河村市長も「通過交通問題は、道路を通すかどうかにかかわらず、解決しなければいけない。いろんな案があると思うので、地元のみなさんの交通の安全を守るため、一刻も早く大至急、やっつけていかないといけない」と答えました。

山根小学校周辺の通過交通量調査



朝方の通過車両調査(名古屋市)

調査日時	調査区間	調査結果
2015年2月14日 8:45-9:15	鎌倉行き 御心行き	
	久方交差点西1	85台 26台
	久方交差点西2	30台 22台
	海老山町1	3台 27台
	海老山町2	0 167台
	海老山町3	0 39台

7~9時圏間一方通行の通過車両調査(名古屋市)

調査日時	調査区間	調査結果
2014年9月11日 7:00-9:00		
	久方交差点西1	15台
	久方交差点西2	14台
	一つ山住宅口交差点西1	9台
	一つ山住宅口交差点西2	7台

夕方の交通量調査(田口と住居)

調査日時	調査区間	調査結果
2015年2月4日 11:00-11:30		
	山根町A	南行き 47台 北行き 27台
	山根町B	南行き 9台 北行き 19台

市営住宅をリフォームし、子育て世帯の入居促進を

田口議員は、古い市営住宅をリフォームして、子育て世帯の入居を促進することも求めました。

古い市営住宅の倍率が異常に低い

市営住宅では子育て世帯向けの募集が行われていますが、築後50年近くの市営高坂荘では、この2か年の平均倍率が0.6倍。近隣にある高坂荘と同じ時期に建てられた、おおね荘も0.6倍、御前場荘も0.7倍と、いずれも募集戸数を満たしていません。子育て向けの倍率は、全市的には昨年度は5.5倍と、けっして低くありません。

若い世帯に合わない間取りや設備

「流し台が狭いため、ガスレンジを置くと、調理スペースがなくなる」「3畳間の使い勝手が悪く、物置になっている」「浴室が狭いうえに、入口の段差が高い」「トイレが和式のため、洋式の便器を置くと、頭がドアにつかえてしまう」——高坂荘のような古い市営住宅の居住

者から聞いた声をとりあげた田口議員は、「古い市営住宅は、間取りや設備などが若い世帯のニーズに合わなくなっているのではないかと質問しました。市住宅都市局長は「間取りや設備が陳腐化している」と認めました。

全面的なリフォームを

田口議員は、「間取りの変更も含めた全面的なリフォームを実施し、子育て世帯の入居を促進すべきだ」と求めました。市住宅都市局長は、高坂荘については、「高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクト」の準備を進めている天白区と連携して、子育て世帯の入居促進のモデルケースとして取り組んでいくと答えました。

田口議員は、このプロジェクトが、建築年度の古い市営住宅における子育て世帯の入居促進の典型となるよう期待すると、意見をのべました。

